

株式会社 シェルター

〒990-2473 山形県山形市松栄1-5-13
TEL 023-647-5000 FAX 023-647-5050
URL <https://shelter.inc/>
E-Mail saiyo@shelter.inc

業種 建築
代表取締役社長 木村 仁大
資本金 9,000万円
創立(設立) 1974年12月7日
生産・販売高(年) 31億800万円(2021年度)
従業員数 総数121名(男性103名、女性18名)



Shelter.

株式会社シェルター
公式採用 LINE は
こちら↓



●事業内容

- 木質構造部材の研究・設計・製造・販売
 - KES構法(接合金物工法)
 - COOL WOOD(1・2・3時間の木質耐火部材)
 - FREE WOOD(曲線・ひねりの部材)
- 木造建築(大規模・中高層・耐火)の設計(デザイン、構造設計・計算)・施工
- 木造耐火設計、木造耐火コンサルティング
- 三次元加工による木製大型家具・木質インテリア製作
- 注文住宅の設計・施工、リフォーム
- 木造都市づくりの企画・コーディネート

●企業理念

フィロソフィー

1. 私たちは、「超一流の住まいづくり」の創業精神にのっとり、人生の原点である住宅の質を北米・ヨーロッパを凌ぐ水準まで向上させ、「シェルター」を人生のステータス、建築のブランドにし、クライアントに喜びと感動を提供します。
2. 私たちは、接合金物構法と木質耐火部材を開発したパイオニア企業としての誇りを持ち、人間力とスキルをたかめ、木構造技術世界No.1を達成し、都市(まち)に森をつくる「木造都市」を実現します。
3. 私たちは、現状に甘んじることなく、あくなき研究・開発により、他にないもの・できないものを創造して新しい社会価値をつくり、変動する社会とお客様の欲求を見極め我社を革新し、社業の発展を通じて世の生成発展に貢献します。

●募集概要

- ・技術職(構造設計、意匠設計、施工管理、積算)、
- ・営業職・生産管理職・事務職 を募集しています。
- 技術職・・・建築系学科対象
- 営業職・生産管理職・事務職・・・全学科対象
- 選考エントリー(下記エントリーフォーム、あるいはLINEよりエントリー)
https://shelter.inc/recruit/new_graduate/
- ※ 意匠設計第一希望者はポートフォリオ提出必須。
任意で作品や実績の提出可。
- 提出先 〒990-2473 山形市松栄1-5-13
(株)シェルター採用担当宛
TEL 023-647-5000 e-mail : saiyo@shelter.inc

●待遇/福利厚生

初任給 (諸手当別途支給)	【東京採用】 大学院卒 230,000円 / 四大卒 225,000円 【山形本社・仙台支社採用】 大学院卒 190,000円 / 四大卒 185,000円 例(東京採用): 大学院卒 二級建築士・宅建士資格合格者 230,000円 + 25,000円 + 25,000円 = 280,000円
昇給	年1回(4月)
賞与	年2回(8月、12月)
有給休暇取得実績日数(年平均)	7日間
年間休日	111日(2022年度)
所定外労働時間 (月平均)	20時間
育児休暇取得率 (前年度)	1名
勤務時間	本社・工場 8:30~17:30 東京・仙台支社 9:00~18:00 (12:00~13:00 休憩)
平均年齢	39.4歳
各種保険、手当等	各種社会保険、退職金制度、財形貯蓄制度、団体生命保険制度、定期健康診断、各種報奨金、各種手当(資格、住宅、家族、時間外勤務、通勤交通費 他)

●求める人物像

当社は、「何が正しいかを考える」を経営理念に定め、基本方針を「創造・革新・挑戦」とし、創業以来、常に他にできないもの、やっていないものに挑戦し、イノベーションを起こしてきた会社です。
自分や会社を基準とするのではなく、誰もが正しいと思うことを基準として一人ひとりが考え行動でき、また、新しいことにチャレンジしたい! という積極的な方を募集しています。

●企業(法人)からのメッセージ

シェルターは1974年に創業し、「創造・革新・挑戦」を基本方針として、注文住宅を建てる会社としてスタートしました。
従来、木造建築には使われていなかった接合金物工法「KES構法」の開発・実用化と「木は燃える」という高い壁を乗り越え生み出した木質耐火部材「COOL WOOD」による大規模・高層建築物へ挑戦し、実現しています。さらに、建築家の夢をかたちにする三次元設計加工技術「FREE WOOD」の開発…。これまでシェルターをつかってきた社員の想いや技術を引継ぎ、今では全国を対象として常識に捉われない木造建築の可能性を大きく広げています。
環境問題が取り上げられる今、世界的に木造建築に対する意識は大きく変わってきました。木造建築は、心身ともに健康で心豊かに暮らすことができる環境をつくる他、地球温暖化という大きな問題を解決する鍵となります。CO2を成長の糧として吸収・貯留した木を伐採と同時に植林し、その木材により建物を建てる「緑の循環」を促進することは、脱炭素社会の実現に大きく貢献します。
「『木造都市』をつくる」- 私たちの使命は木造建築によって、カーボンニュートラルな温かみのある未来都市をつくることです。それを世界へ発信していきます。
皆さんの想像する未来はどのような世界でしょうか。
私たちの事業に賛同し、想いに共感してくださる皆さんをお待ちしています。